

ナメラダイモンジソウ *Saxifraga fortunei* Hook.f. var. *suwoensis* Nakai

【評価理由】

個体数階級 1、集団数階級 2、生育環境階級 3、人為圧階級 2、固有性階級 3、総点 11。西日本系の植物で、愛知県は分布域の東限にあたる。岩崖地性の植物で生育環境が限定されており、園芸目的の採取で減少している。

【形態】

多年生草本。高さ 5~40cm になる。葉は根茎の先端に束生し、長さ 3~20cm の葉柄があり、葉身は腎円形で基部は心形、長さ 3~15cm、幅 4~20cm、掌状に 5~7 中裂し、裂片はふつう倒卵形である。花期は 10~11 月、花茎の先の集散花序に、白色の花をつける。花卉は上側の 3 個は楕円形で小さく、長さ 3~4mm、下の 2 個は線状楕円形で、長さ 6~15mm である。

【分布の概要】

【県内の分布】

西：5 稲武 (塚本威彦 2583, 1997-10-18)、19 旭 (芹沢 64297, 1992-10-19)、20 足助 (塚本威彦 1817, 1995-10-23)、22 小原 (日比野修 3816, 1996-10-12)、23 藤岡 (塚本威彦 1814, 1995-10-23)、28 額田 (千賀敏之 s.n., 2010-10-14)。尾：37a 瀬戸 (日比野修 945, 1992-10-11)、45 犬山 (芹沢 73419, 1996-10-19)。8 鳳来北東部 (杉野文昭 s.n., 1964-10-4)、30 岡崎南部 (生平, 高橋 孝 s.n., 1950-8-26) で採集された標本もある。

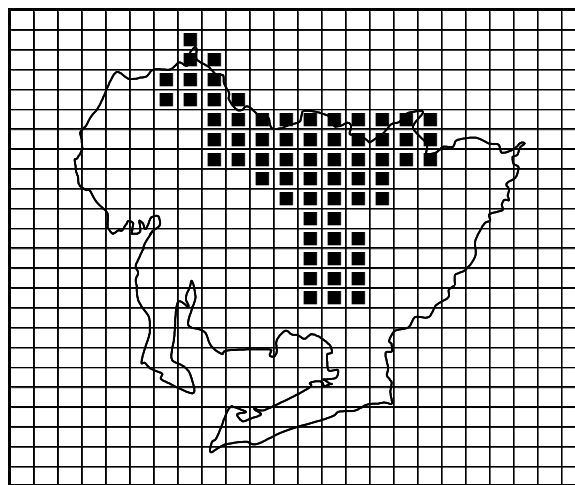
【国内の分布】

本州 (中部地方以西)、九州に分布する。

【世界の分布】

日本固有変種。種としては日本、朝鮮半島、中国大陸、ウスリーなどに分布する。

要配慮地区図



【生育地の環境／生態的特性】

川岸などの湿った岩壁に生育し、通常群生する。

	山地	丘陵	平野	海浜
森林				
草・岩	○			
湿地				
水域				

【現在の生育状況／減少の要因】

人目につかない場所ではよく生育しているが、園芸目的の採取で荒らされ、ほとんど絶滅状態になってしまった場所もある。

【保全上の留意点】

園芸目的の採取を防止するため、分布情報の公表に際し慎重な配慮が必要である。一部の群落は東海豪雨時の増水により大きな被害を受けたが、これは自然変動の範囲内であり、放置しておいてもそのうちに回復すると思われる。

【特記事項】

「ダイモンジソウ」の名は、5 枚の花弁のうち下側の 2 枚が長く、花が全体として「大」の字に見えるからである。以前は誤ってカエデダイモンジソウと呼ばれていた。

【関連文献】

保草本Ⅱ p.155 (カエデダイモンジソウとして)、平草本Ⅱ p.172、平新版 2 p.213、SOS 旧版 p.57+図版 29。